

ONCC 10期 ミュージアムへ行こう

第5回テーマ 大阪市立美術館 ドレスデン国立古典絵画館所蔵 「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」

1. 「事前学習」2022年9月8日

於：豊中くらし館

講師：大阪市立美術館 名誉館長 篠 雅廣 先生



ドレスデン国立古典絵画館について

ラファエロ「システィーナの聖母」（1613年頃）は超目玉である。フェルメールは「取り持ち女」（1656年）、「窓辺で手紙を読む女」（1657～1659年頃）の2点の作品がある。

1) 展覧会の経緯と構成について

レイデンの画家-ザクセン選帝侯たちが愛した作品

レンブラントとオランダの肖像画

オランダの風景画

聖書の登場人物と市井の人々

オランダの静物画-コレクターが愛したアイテム

複製画

「窓辺で手紙を読む女」の調査と修復

2) ドレスデン国立古典絵画館が所属するフェルメール、レンブラント、メッー、ファンライダールなど、17世紀オランダを代表する画家についての紹介。

3) フェルメール「窓辺で手紙を読む女」は、修復後、所蔵館以外で世界初公開である。

「窓辺で手紙を読む女」は1657～59年ごろに制作された。当初は、レンブラント作、その後、ペーテル・デ・ホーホ作とされ、1860年代からフェルメール作とされた。1979年、X線の調査で絵画にキューピッドが確認された。2021年に修復が完了した。



篠先生に、数多くの名画をスライドで分かりやすくご紹介していただき、とても理解が進みました。9月15日に、美術館へ鑑賞に行きます。事前学習によって背景を知ったことから、当日は絵画の見方が変わると思います。

2. 鑑賞会 2022年9月15日 大阪市立美術館 参加者33名 CD2名

当日は、気温35度を超える暑さの中、1章から7章まで74点の作品のうち、先生に事前にご紹介いただいた作品を中心に、講義を思い出しながら重点的に鑑賞しました。心に残る鑑賞会になりました。



大阪市立美術館は、1936年に開館し、最大規模の改修工事が2022年9月26日から行われ、約2年半の長期休館となります。2025年春にリニューアルオープンの予定です。その折には、篠雅廣先生のご案内を希望いたします。